

【経済学部】令和8年度 学部等教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部等教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

学部長、副学部長、およびカリキュラム委員長の3名で計画し、カリキュラム委員10名で実行する。シラバスチェック等の検証は、カリキュラム委員10名に加えて経済学部教員全員が輪番で行う。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

① カリキュラムマップ

特になし。

② シラバス

特になし。

③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

特になし。

今年度の取り組み

教授会やシラバスチェックにおいて適切性について検証する。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題

DP 達成度の学生の主観的評価を集計し可視化する。

今年度の取り組み

昨年度に引き続き、DP で求められる知識・スキルを分解し、授業形態（講義系科目・演習系科目・データサイエンス系科目）ごとにどの知識・スキルが身に付いているか分析する。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

B Y O Dにおけるデジタルデバイスの活用

今年度の取り組み

BYOD 2年目に当たる今年度は、特にデジタルデバイスとの親和性の高いデータサイエンス系科目を中心として、デジタルデバイスの活用による学習効果のさらなる向上を目指した授業運営のあり方について検討を進める。

アセスメントプランの取り組み

アセスメント科目名	検証方法（在学時）
・経済学入門Ⅰ ・データ分析セミナー ・演習Ⅲ ・演習Ⅳ	☐ 外部アセスメントテスト（GPS アカデミック）
	☒ 学習成果実感調査
	☒ GPA
	☐ 在学生調査（在学生生活に関するアンケート）
	☐
	検証方法（卒業時）
	☒ 卒業研究・卒業論文
	☒ GPA
	☐ 卒業時調査（4年次生調査）
	☐

取り組み内容（「8つの資質・能力」の達成方法など）

必修科目である「経済学入門Ⅰ」については、成績分布の推移を点検する。「データ分析セミナー」については履修状況と成績分布の調査に加えて学習成果実感調査を用いた検証を行う。「演習Ⅲ」と「演習Ⅳ」については、履修状況および単位修得状況について調査する。

その他

特になし。

※この内容は、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP へ掲載します。